

推進計画	担当課	質問	回答
<p>【No.4】 大綱1-(1) ファミリーサポート センター運営事業</p>	<p>子育て支援課</p>	<p>知っている人には、大変お助けになるシステムです。援助会員が充実していないと依頼会員を増やすことができない。援助会員を増やすより手はないですね。地域福祉ネットワークづくりの仲間に入るようなそれぞれの区・自治会ですべての年代の住民をサポートできるシステムをつくり上げられないでしょうか？</p>	<p>ファミリーサポートセンターのシステムは、会員による子育て支援の相互援助を目的としていますので、援助会員数の拡大は、重要な課題だと考えています。毎年3回の講習会を広報で募り開催しております。今年度は、6月に12人、11月に11人の登録があり、次は、2月に講習会を予定しています。ファミサポについては、0才～小学校6年までの子どもが対象ですが、低年齢児を預かったりする場合は、特に神経を使って活動していただいています。</p> <p>「地域福祉ネットワーク」が、どのような構想で今後構築されていくのかによりませんが、ファミサポの会員相互による有償ボランティアの仕組みは、モデルのひとつとして有効なものだと考えています。</p>
<p>【No.15】 大綱1-(1) 地域住民、ボラン ティア団体、NPO 法人 等の社会福祉活動へ の支援</p>	<p>福祉課</p>	<p>「地域福祉ネットワークづくり」はどんな組織・グループをネットワークするのか？あるいは新しいものをつくり出すのでしょうか？</p>	<p>社会福祉協議会、民生委員・児童委員、地区ボランティア連絡協議会などを中心に地域福祉の関係機関によるネットワークを構築していくものです。</p> <p>現在、第2次地域福祉計画を策定しておりますが、その中で、地域の住民、ボランティア団体、福祉関係者などと話し合いながら地域福祉を推進するための基礎組織について検討をしています。</p>

推進計画	担当課	質問	回答
<p>【No.45】 大綱3-(1) 広域交通ネットワークの形成</p>	<p>交通防犯課</p>	<p>今の運行ですと、時間にゆとりのある高齢者の足にしかならない。特に65歳以上無料化は外へ出る機会も増えてよいことだと思います。</p> <p>可能ならば、子育て世代にもたよりになるコミュニティバスとして平日の親子連れも無料までは難しいけれど、病院やお買物の足となれるといい。小牧市は子育て中のママにやさしいよと若い世代の人口が流入するのでは。名鉄犬山線とか小牧線へのつなぎの運行に関して、名鉄バスと競合しないようにと言われています。便利になれば、利用も増えるのではないのでしょうか？</p>	<p>巡回バスは、公共施設へのアクセスの確保による施設利用の促進と、交通空白地の解消を目的に運行が開始され、高齢者や子どもなど交通弱者の方にご利用いただいております。また65歳以上無料化により高齢者のご利用は増加しております。</p> <p>現在、タクシーとバスの中間的乗物で、予約制の公共交通である「デマンド交通」の導入について、その運営や運行方式の検討を進めておりますが、その中で鉄道や路線バスとの接続についても検討しており、既存の公共交通と併せ人にも環境にも優しい「交通先進都市こまき」を目指します。</p>